

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

1 日時

2023年2月25日（土） 18時25分から20時30分まで

2 会場

名古屋市東スポーツセンター 第1競技場

3 プログラム名

ホッケー

4 講師（敬称略）

（一社）愛知ホッケー協会 中條 友博、安川 楽（他4名）

5 活動内容

3回目の今回は、準備体操とランニングの後、各学年3チームに分かれてパスやシュート練習を行いました。

その後、前回の技術練習を活かし、ホッケーの現役選手を監督に置いた学年ごとの3チームと表示灯フラーテルチームの、合計4チームで予選リーグ、決勝トーナメントのゲームを行いました。各チーム、現役選手と相談しながら戦い方を決め、ゲームに臨んでいました。試合が進むにつれて、攻撃の選手、守備の選手、ゴールキーパーとチーム内の役割を分担していき、白熱したゲームが行われました。

表示灯フラーテルチームの上手なボールコントロールに翻弄されながらも、必死にボールを奪いに行き、ゴールする姿が見られました。各コート一進一退の攻防で得点を奪うと、喜びの歓声が上がっていました。



作戦タイムの様子



白熱したゲーム



各チームの結果が気になります



全員で記念撮影

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

- 1 日時
2023年2月4日（土） 18時25分から20時30分まで
- 2 会場
名古屋市露橋スポーツセンター 競技場
- 3 プログラム名
ホッケー
- 4 講師（敬称略）
（一社）愛知ホッケー協会 永井 東一、井島 光希（他4名）
- 5 活動内容

2回目の競技体験は、「1対1のディフェンス」から始まりました。『攻撃者の右肩と、自分の右肩とゴールを結んだライン上に立つように！』という指示どおり、アカデミー生は1対1をしながら、細かくステップを踏んで、シュートを打たせないようにするポジショニングを学びました。

次に「ランニングパスからのシュート」、「ディフェンスの背後に動き出してのシュート」と実践的な練習を続けて行いました。スティックをうまく使い二人でパスを繋いでゴールを決めると、二人でお互い喜んでいる様子が見られました。

最後は、5対5のゲーム。学年ごとのチームに分かれて行いましたが、どのチームも積極的にゴールに向かう姿と、ゴールを守る姿が見られ、白熱した試合となりました。



講師による丁寧な指導



ディフェンスの動きを体で覚えます



動きながらのパス交換



5対5の白熱したゲーム

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

1 日時

2023年1月21日（土） 18時25分から20時30分まで

2 会場

名古屋市東スポーツセンター 第1競技場

3 プログラム名

ホッケー

4 講師（敬称略）

（一社）愛知ホッケー協会 永井 東一、井島 光希（他4名）

5 活動内容

全体説明、準備運動から始まり、現役選手のデモンストレーションを見学した後、二人組でストローク（ボールを押す）とレシーブ（ボールを止める）の練習を行いました。最初は思うようにスティックにボールが当たらず、強いボールで相手のいるところにパスをすることやボールをうまく止めることができませんでしたが、時間が経つにつれ、徐々に強いボールでパスをすることができるようになりました。

続いてドリブル練習が始まり、片面しか使えないスティックに苦戦しながらも、手首をうまく使いながらボールを運べるようになっていきました。

最後は4対4のスマールゲームを行いました。試合前に円陣を組むチームもあり、団結してゲームに臨む姿が見られました。短い時間でしたが、どの試合も白熱した攻防が繰り広げられました。



打ち方を教わる様子



講師の合図に合わせてドリブルする様子



4対4のスマールゲームの様子



全員で記念撮影